

浜松いのちの電話

ひとりで悩まないで、話してみない？

相談電話 053-473-6222

年中無休。匿名でお話しができます。
相談内容のプライバシーは守られます。

自殺予防 いのちの電話 フリーダイヤル

0120-783-556 (ナミ・ココロ)

毎日フリーダイヤル 毎日16:00~21:00

毎月10日は24時間受付(8:00~翌朝8:00)

浜松いのちの電話協力時間:平日 16:00~19:00
毎月10日 10:00~24:00

ナビダイヤル 0570-783-556 (ナミ・ココロ)

毎日10:00~22:00(通話料がかかります)

通話可能なセンターに順次おつながします。

LINHA DA VIDA HAMAMATSU

ポルトガル語相談 0120-428-333

毎週金曜日 19:30 ~ 21:30

インターネット相談を実施中です。



日本いのちの電話連盟の【ホームページ】
からログイン登録をしてください。
相談内容のプライバシーは守られます。

夏休み 中高生専用フリーダイヤルを開設します

0120-783-107 (静岡県内)

開設期間 8月22日(土)~9月2日(水)
13:00 ~ 22:00

2025年度

事業報告



社会福祉法人

浜松いのちの電話

目次

巻頭「戦後80年を振り返って」	
理事長 福永 博文	1
2025年電話相談統計報告	3
2025年度事業報告	5
2025年度会計報告	7
2026年度事業計画	9
2025年度ご協力者	11
2026年度役員	14

戦後80年を振り返って

－ 歴史の肯定的理解を中心に －

浜松いのちの電話

理事長 福永 博文

2025年は、戦後80年の節目の年でした。そして戦後80年の歴史を振り返ることにより、改めて今日の豊かな社会を実感することが出来ました。

終戦直後の国民生活は困窮し、特に衣食住に事欠き、街には戦災で親を亡くした子どもたちが、食べ物や寝場所を求めて彷徨っていたようです。「刈り込み」により逃げ惑う子どもたちを闇市の人たちが雑炊を食べさせたり、密かに匿ってくれたりした市井の人たちもいたようです。一方「刈り込み」により、森に遺棄されたり、檻に入れられたりした子どもたちもいたことも記録に残されています。

1948年、山形県の山間部にある中学校に赴任した無着成恭は、1年生1クラス43名の授業を担当しました。家庭生活は困窮し、子どもたちは家業の手伝いや蕨売りなどをして家計を助けるため、学校へ行きたくても行けなかったようです。

このような状況の中で、無着成恭は教材を工夫し、家庭や地域の中での教育に力を入れたようです。

以後、時代が経過する中で、ノーベル賞受賞者輩出、1951年手塚治虫の「鉄腕アトム」は、子どもたちの心を躍らせ希望を与えました。水泳世界選手権で古橋広之進が世界記録を樹立、1960年池田勇人首相が「国民所得倍增計画」を発表、併せて「人づくり政策」や「家庭づくり論」を発表、1964年東京オリンピック開幕、1975年国際婦人年：伝統的性別役割分業の是正、男女雇用機会均等法成立、1979年障害児教育における養護学校義務化、1984年国際家族年：家庭の重要性や家族の福祉支援：1989年国連で「児童の権利に関する条約」成立：1994年日本批准、1999年静岡県

「人づくり百年の計」委員会設置、オリンピックで日本選手活躍、2006年高校野球夏の甲子園：15回で決着つかず多くの国民に感動を与えました。タイガーマスク出現、2011年サッカー日本女子W杯優勝、オリンピック・パラリンピックで日本選手活躍、東京都の小学生(11)が「いじめ」をやめる方法を考案し発表、米大リーグで日本人選手大活躍、教育基本法成立、教育機会均等法施行、教育機会確保法施行、将棋の藤井聡太が最年少五冠獲得、男女共同参画白書：「昭和モデル」から「令和モデル」へ転換、情報化社会の進展、高校や大学・専門学校等への進学者が増加しました。

以上、戦後80年間の歴史の一端を垣間見ました。

特に、今日の豊かな社会を形成する基本となった法制度の整備や多様な施策、スポーツや文化、芸術、人づくりなどの振興により、人が幸せに生きるための基礎が構築された80年間であったと思うのです。

しかし一方、80年間の社会問題については、変わらない問題、減少傾向にある問題、増減を繰り返している問題、そして新たな問題なども出現しています。

戦後80年間の歴史を概観するとき、イタリアの歴史家B. Croceのいうすべての歴史は「現代史」であることを実感します。近年、我が国では、不登校が急増しています。その背景の1つとして学業不振が指摘されています。先の無着成恭の教育は、現在の不登校支援に役立つと思うのです。またイギリスの哲学者で歴史家でもあるR. G. Collingwoodが述べている歴史の「想像的理解」を基本にしながら、戦後80年の歴史的事実について、多くの人と共有しながら、現代社会の諸問題に「応用」していきたいと思うのです。

2025年 電話相談統計報告

2025年の相談件数は10,796件となり、昨年比4.2%の微増となりました(2024年～10,359件、2023年～10,507件)。

相談員実働数についても、ここ2～3年は顕著な増減は見られず、横這いの状態が続いています。

2026年度につきましても、ひきつづき相談体制の強化に努めるとともに、日本のいのちの電話連盟との共催事業であるフリーダイヤル、ナビダイヤル他に継続参加し、より広域の相談者への対応ができるように尽力して参ります。

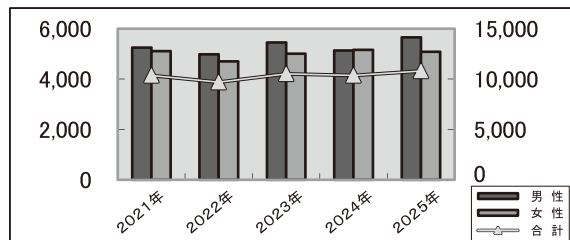
1. 受信体制

- (1) 相談員在籍者数 153名 (2) 相談員実働数 120名
(3) 相談電話数 2台 フリーダイヤル専用 1台
(4) 受信時間
日～火曜・祝日 10:00～22:00 水～土 10:00～24:00
毎月第2.4土曜日 10:00～翌朝10:00 24時間
☆ナビダイヤル 全国の(回線が空いている)「いのちの電話」につながる
☆行政からの受託事業等
毎月10日 10:00～24:00 (全国一斉フリーダイヤル・自殺防止)
毎日16:00～19:00 (全国一斉フリーダイヤル)
静岡県「こころの電話」の夜間、休日転送分の受信(県委託事業・毎日)
毎週金曜日19:30～21:30 ポルトガル語相談(浜松市委託事業)

2. 受信件数5年間の推移

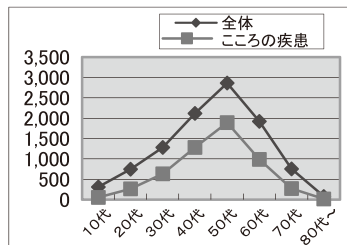
	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
男 性	5,243	4,985	5,446	5,132	5,660
女 性	5,113	4,708	5,013	5,163	5,085
その他	—	—	48	64	51
合 計	10,356	9,693	10,507	10,359	10,796

★ 2023年から「その他」(LGBT等)が項目に追加され、生きるのがつらいと訴える相談が増えた。



3. 年代別受信件数 & 精神疾患

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	不明	合計
全体	312	746	1,281	2,120	2,862	1,922	755	80	718	10,796
こころの疾患	55	268	633	1,279	1,891	986	273	17	211	5,613
%	18	36	49	60	66	51	36	21	29	52



★ 男女・その他ともに働き盛りの年代(40代～50代)からの相談が相談件数の半数近くになっている。また、自分の病名(こころの疾患名)を最初に伝え、話し始めるリピーターが多くみられる。

4. 主な相談内容

順位	男 性	女 性	その他
1	人 生 1,197	こころ 1,225	職 業 8
2	こころ 1,163	人 生 1,027	男 女 7
3	性関係 558	家 族 749	こころ 6
4	家 族 349	対 人 575	人 生 5
5	身 体 345	身 体 396	対 人 3
6	その他 2,048	その他 1,113	その他 22
合計	5,660	5,085	51

★こころの疾患・人生・家族問題等について、長時間話し続ける相談者が多数見受けられる。

5. 自殺傾向の相談

★一人暮らしで1日中誰とも話さず誰も気にかけてくれないから死んでもいいんだと話す人、また大勢の職場を帰宅後、ひとり暮らしで自宅一人になるギャップを訴え、さびしい・死にたいと訴える人もいる。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
男 性	14	39	77	134	199	76	27	27	593
女 性	19	58	96	126	135	111	60	17	622
その他	0	1	0	0	1	2	0	1	5
合 計	33	98	173	260	335	189	87	45	1,220

6. インターネット相談

【厚生労働省自殺防止対策補助事業】として全国展開中

相談内容が大きく変化することはなく、依然として人生・家族・職場・学校・保健医療の占める割合は多い。

近年、相談先の選択肢が増えたことで、受信件数の減少が続いているが、より早く対応できる相談窓口が増えたことが、自殺傾向率の低下に表れているように見受けられる。

受信件数	年代別	相談内容
男 性 59	10代 18	人 生 55
女 性 105	20代 48	職 業 13
その他 5	30代 33	経 済 12
計 169	40代 32	家 族 21
	50代 28	夫 婦 10
	60代 8	職場・学校 17
	70代～ 2	男 女 6
	不明 0	保健医療 31
	計 169	情 報 0
		そ の 他 4
		計 169

自殺傾向の推移(過去5年)					
	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
念 慮	57	47	38	40	67
危 険	4	7	4	2	5
予告・通告	0	0	1	0	1
実 行	0	0	0	0	0
計	61	54	43	42	73
※自殺傾向率	36%	32%	25%	25%	43%

7. ポルトガル語電話相談

通 話	18	・ 相談の内容はこころの病気、家族の問題、日本在住の不安や不満などがあつた。 ・ こころの病気の相談は日本語、ポルトガル語、いずれも多くあつた。
無言・意味不明	6	
日本人からの電話	4	
計	28	

2025年度事業報告

開局 39 年目にあたる 2025 年度も多くの方々の善意とご協力のうえに、財政面でも組織運営の面でも支えられ、活動を継続することができました。関係の皆様、改めて深く感謝いたします。

2025 年度受信件数は 1 万件を回復し、コロナ禍から回復することができました。ただ電話当番の出席率は、年度を通して、空き枠や一人枠が見受けられ改善が必要な状態です。現在 122 名の相談員が当番にあたっていますが、義務としてお願いしている月 2 回の当番では、60 程度の空き枠が生じてしまいます。そこで、相談員委員会が相談員一人月平均 2.5 回の当番をして頂く様に呼び掛け、空き枠の解消に尽力してくれましたが、まだ充分ではありませんでした。ご家族の方の協力も得て、相談員が安心して相談電話に出られる状況が出来てくると良いと感じます。

1. 相談員の認定

- ・ 2025 年 10 月に第 39 期生 7 名を電話相談員に認定
- ・ ポルトガル語相談員第 24 期生 2 名を認定

2. 相談員の養成

- ・ 第 41 期生 9 名が基礎研修受講中
- ・ 第 40 期生 4 名のインターン研修を実施中

3. 相談員の研修

- ・ 毎月 1 回 11 グループの継続研修
- ・ 11 月 15 日相談員全体研修会を市民公開講座と重ねて実施（講師 有田モト子氏）
相談員 40 名、一般 22 名参加
- ・ 宿泊研修（1 泊 2 日）の実施（森の家、8 名）
- ・ 東海ブロック静岡研修会に 3 名参加

4. 研修スタッフ研修

- ・ 研修スタッフ養成研修で 3 名認定
- ・ 隔月の課題研修、3 か月毎のワンデーク
静岡センターとの合同スタッフ研修実施（2 回）

5. 相談活動の充実・環境整備

- ・ 若者からの相談受信体制の整備
夏休み中高生フリーダイヤルを開設（8/23～9/3）
県西部の公立中高生 86 校へ告知カードを配付（44,000 枚）
- ・ インターネット相談 19 名体制で実施年 4 回の研修

6. 外国語（ポルトガル語）電話相談

- ・ 受信件数 24 件 毎週金曜日 19：30～21：30
- ・ 実働相談員 4 名（内 2 名が 10 月に認定）
- ・ 市内外 3 か所のブラジル人学校などに訪問し、外国語電話相談を啓発
- ・ 外国語相談カードを作成し配布（5,000 枚）

7. 広報活動

- ・ 外部報の発行（年 2 回）各 2,400 部
特集「浜松センターはどう生まれたのか」
3 回シリーズで 2 回掲載済み

- ・ 内部報「シンフォニー」の発行（年 4 回）
- ・ ホームページの更新掲載
- ・ 開局 40 周年に向けての広報活動

8. 事業活動

- ・ 納涼チャリティ寄席を開催（7 月 5 日）
滝川鯉昇師匠 入船亭扇遊師匠
402 名参加
- ・ チャリティ映画会 8Weeks
10 月 3 日～11 月 27 日 シネマイーラ
206 名参加

9. 地域とのつながり

- ・ 学校研修への協力（浜松市医師会看護高等専修学校、人間関係基礎論等 4 回）
- ・ 浜松市精神保健福祉センターのラジオ番組「いのちをつなぐ手紙」への参加（毎月）
- ・ 浜松市自殺対策啓発イベントへの協力（3 月）
- ・ 行政活動・NPO 法人活動への参加
県自殺対策連絡協議会、浜松市自殺対策連携会議、
県犯罪被害者支援会議等へ参加
- ・ 市民公開講座を実施

10. フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」に参加

11. 「毎日フリーダイヤル」に参加（浜松は 1055 件受信）

12. 「震災支援予約制ダイヤル」に参加（5 件受信）

13. 共同募金会「課題解決プロジェクト募金」に参加

14. 「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加



静岡県共同募金会様より貴重な助成金をいただきました。厚く御礼を申し上げます。
団体運営がより一層充実するように大切に活用させていただきます。

2025年度会計報告

事業活動収支計算書

(自)2025年4月1日 (至)2026年3月31日 (単位:円)

勘定科目			当年度決算	前年度決算	増減
サービス活動増減の部	収益	会費収益	1,723,500	1,944,500	△ 221,000
		電話相談事業収益	9,785,860	9,106,411	679,449
		経常経費寄付金収益	1,571,329	1,501,205	70,124
		その他の収益	35,154	25,717	9,437
		サービス活動収益計	13,115,843	12,577,833	538,010
	費用	人件費	2,595,700	2,541,300	54,400
		事業費	5,331,447	4,576,481	754,966
		事務費	5,081,236	4,434,341	646,895
		減価償却費	577,877	694,960	△ 117,083
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 189,176	△ 284,941	95,765
		サービス活動費用計	13,397,084	11,962,141	1,434,943
	サービス活動増減差額		△ 281,241	615,692	△ 896,933
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金	36,847	7,736	29,111
		サービス活動外収益計	36,847	7,736	29,111
	費用	支払利息	0	0	0
		サービス活動外費用計	0	0	0
	サービス活動外増減差額		36,847	7,736	29,111
経常増減差額			△ 244,394	623,428	△ 867,822
特別増減の部	収益	設備整備等補助金収益	0	0	0
		特別収益計	0	0	0
	費用	固定資産処分損	0	0	0
		国庫補助金等積立金積立額	0	0	0
		特別費用計	0	0	0
	当期活動増減差額		△ 244,394	623,428	△ 867,822
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額		15,419,507	14,796,079	623,428
	当期末繰越活動増減差額		15,175,113	15,419,507	△ 244,394
	次期繰越活動増減差額		15,175,113	15,419,507	△ 244,394

貸借対照表 2026年3月31日(単位:円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
科 目	当年度末	前年度末	科 目	当年度末	前年度末
【流動資産】	13,850,302	13,705,995	【流動負債】	0	0
現金預金	13,679,076	13,524,339	借入金	0	0
貯蔵品	171,226	181,656	事業未払金	0	0
			仮受金	0	0
			預り金	0	0
【固定資産】	23,167,016	23,744,893	【固定負債】	0	0
【基本財産】	21,700,000	21,700,000	負債の部合計	0	0
定期預金	21,700,000	21,700,000	純資産の部		
【その他固定資産】	1,467,016	2,044,893	【基本金】	21,700,000	21,700,000
建物付属設備	979,888	1,159,092	【その他の積立金】	142,205	331,381
器具及び備品	177,128	575,801	基金積立金	0	0
権利(電話加入権)	10,000	10,000	国庫補助金等特別積立金	142,205	331,381
基金積立資産(定期預金)	0	0	【次期繰越活動増減差額】	15,175,113	15,419,507
差入保証金(敷金)	300,000	300,000	(うち当期活動増減差額)	(+244,394)	(+623,428)
			純資産の部合計	37,017,318	37,450,888
資産の部合計	37,017,318	37,450,888	負債及び純資産の部合計	37,017,318	37,450,888

(注)減価償却累計額 5,862,893円

財産目録 2026年3月31日(単位:円)

		内 訳	金額	金額
資産の部	流動資産	現金預金	13,679,076	
		貯蔵品(切手)	171,226	
		流動資産合計		13,850,302
	固定資産	基本財産(定期預金)	21,700,000	
		基本財産合計		21,700,000
	その他の固定資産	建物付属設備	979,888	
		器具及び備品	177,128	
		電話加入権	10,000	
		差入敷金	300,000	
		その他の固定資産合計		1,467,016
	資産合計			37,017,318
負債の部	流動負債		0	
	固定負債		0	
	負債合計			0
差引純資産				37,017,318

上記の会計監査の結果適正であることを認めます。

2026年5月13日 監事 鈴木 勲・久留島 勝則

2026年度事業計画

今年は、浜松いのちの電話の創立40周年の年になります。9月19日(土)午後に浜北文化センターで記念事業を計画しています。記念講演は、ヒオカ氏を予定しています。2026年度に力をいれたい点は、空き時間と一人時間帯を減らし、できるだけ多くの枠を当番二人で運用していくことです。開設以来ずっと24時間365日を目標に掲げてきましたので、それに一步でも近づくことを目標に取り組みたいと思います。

2026年も引き続き、電話されてくる多くの相談者の期待に沿った対応ができるように取り組みます。継続研修を通して、相談員の相談対応力の向上を図ります。同時に新しい相談員を希望される方の教育研修に力を入れます。

浜松いのちの電話は、多くの協力者の皆様のご支援により成り立っています。これに対して、深い感謝の気持ちをもって2026年度も活動が続けたいと思います。

1. 第42期生養成講座

- ・目標 20名 受講生募集開始 2026年 11月
- ・開講 2027年 4月 研修期間 1年半

2. 相談員の養成

- ・第41期生 9名 基礎研修・インターン研修
- ・第40期生 4名 インターン研修

3. 相談員の研修

- ・継続研修の実施(月1回11グループで実施)
- ・相談員全体研修会
- ・インターネット相談員研修
(スーパーバイズ研修、定例研修会4回)

4. 研修スタッフインターン研修

- ・2026年7月より、3年間の養成講座を実施する。
応募資格は3年以上の相談員の活動経験があること。

5. 外国語(ポルトガル語)電話相談

- ・相談員4名、フリーダイヤルで対応中
- ・浜松市内の小中校に相談カードを配布
- ・外国人市民への広報、情報誌への広告等実施

6. 相談活動の充実と相談員のサポート

- ・若者の自殺防止への対応
インターネット相談の充実
夏休み中高生フリーダイヤルの開設、学生カードの配布
- ・受信活動に専念できる環境づくり

7. 財政の安定化

- ・資金ボランティアの開拓
- ・関係機関からの補助金、助成金の申請と確保
- ・共同募金会「課題解決プロジェクト募金」に参加

8. 広報活動の推進

- ・ホームページの充実
- ・市民公開講座の開催
- ・報道機関等への積極的な情報提供
- ・外部報(年2回)、内部報(年4回)の発行

9. フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」

毎月10日(10時～24時)に参加

10. 「毎日フリーダイヤル」に参加

平日 月～金(16時～19時)に参加

11. 地域とのつながり

- ・地域の「傾聴ボランティア養成研修」に講師派遣
- ・「納涼チャリティ寄席」の開催
7月4日(土) 浜松市福祉交流センター
- ・「チャリティ映画会」の開催
10月2日～11月26日(予定) シネマイーラ
- ・「いのちをつなぐ手紙」への参加
- ・「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加

12. 関係機関・団体との連携・協力

- ・日本いのちの電話連盟
- ・静岡県
- ・浜松市
- ・磐田市
- ・浜松市精神保健福祉センター
- ・浜松市国際交流協会
- ・浜松市社会福祉協議会
- ・静岡県共同募金会
- ・日本財団
- ・静岡県電話相談機関連絡協議会
- ・県や浜松市の犯罪被害者支援連絡協議会 他

【県内西部の中高生に電話カードを配布しています】

浜松いのちの電話

夏休み 中高生フリーダイヤル

TEL 0120-783-107

2026年8月22日(土)
から9月2日(水)

13:00～22:00

名の必要はなく、秘密は守ります
ひとりで悩まないで、話してみない?



浜松いのちの電話では、毎年「夏休み」に県内西部の中高生を対象に電話カードを配布して、フリーダイヤル電話相談を行っています。この電話カードの作成費用に「赤い羽根課題解決プロジェクト募金」にご寄付いただいた支援金を活用させていただいています。

あたたかいご支援・ご協力ありがとうございました
2025 年度 (2025.4 ～ 2026.3) 敬称略

★会費・寄付【個人】

秋山 葉子	天野富士子	天野 光江	新井 友子	有田モト子
池田 佳世	池元 朋子	石川縫三郎	石澤 章二	市原 拓
磯部 幸恵	伊藤 頼子	今村 順子	内山伊久江	大石 國行
大久保靖枝	大澤ゆかり	大場 文彦	大場 義貴	大森 幸恵
岡崎 一雄	岡本 肇	小栗 恭子	落合 悦子	笠原 桂子
梶 富美子	梶浦由喜子	片瀬 文範	片山 明子	加藤 敏行
神谷 礼子	川合喜實子	川合 陽子	河合 利行	河合 道子
河合ゆかり	川西 敏文	川俣真理子	河村 良枝	鬼頭 秀行
桐谷 啓子	工藤 通子	栗田 愛子	栗山 節夫	小林 光世
子安 崇雄	西條 晃代	酒井二三子	佐藤 和彦	佐藤きみ子
佐藤 三郎	定方 恭子	佐野 康代	鮫島 道和	柴田 睦子
白谷 智枝	末松 涉	杉本 節子	杉山 陽一	鈴木 新
鈴木 一夫	鈴木 啓一	鈴木 辰幸	鈴木登紀子	曾布川能康
田内 浩之	高木 万枝	高田 清子	竹中あゆり	高林 勇次
高平 啓子	高山きよ子	竹内 祐子	竹下美智子	田中やす子
堤 ふみ子	鶴見 誠二	津幡 佳伸	寺田佐千代	遠山千代子
戸田 淳子	永井 範子	長沢 敦子	中根 忠志	中根みづほ
中村 修三	中村 道子	中村 弘江	中村美保子	中村由紀子
名倉 恒夫	成田喜代司	西田 文代	忍頂寺千恵子	野島 敦子
野島三重子	野村 容子	野藤 弘幸	袴田 純	袴田 修司
萩田 妙子	林 豊子	原田 正司	原田 茂里	原田 貴之

※掲載いたしました個人名につきましては、個人情報保護法
にもとづき責任をもって管理いたします。
掲載を希望されない方は、ご面倒ですが事務局までご連絡
くださいますようお願いいたします。

★会費・寄付【個人】 前頁から続く

平澤 明美	平出 茂樹	福家 公子	藤江三千男	藤本 正勝
古川 道子	古橋 克己	古橋 光子	堀江ひろみ	本城かはる
前川 幹恵	前田由里子	増田 辰男	松尾真由美	松尾 哲道
松下 雅由	松竹八重子	松永 正之	松本なおい	丸山 信子
三浦佐津子	溝口賢一郎	宮谷 恵	宮谷百合子	三輪 公子
村田美津子	村松 恵子	村松 真弓	矢野 善章	山内由美子
山本 健司	柳原 とも	山本 清一	山本 周子	山本 敏博
横田美佐江	吉田 恵子	吉田 実生	渡部 修	藁科 征子
割鞘健太郎				
匿名 6 名様				

浜松いのちの電話をご支援ください

いのちの電話の活動は、多くの無償ボランティアによって継続
しています。皆さまのご理解とご支援をお願い申し上げます。

【振込先】

郵便振替 00800-2-53944
加入者名 社会福祉法人 浜松いのちの電話
郵便振替手数料は無料(当法人負担)です。

浜松いのちの電話は税額控除の指定を受けている社会福祉
法人です。ご寄付は税法上の優遇措置がございます。

あたたかいご支援・ご協力ありがとうございました
2025 年度 (2025.4 ～ 2026.3) 敬称略

★会費・寄付【法人・団体】

(有)あかまつプラザ36 遠州栄光教会ディアコニア部
大庭歯科医院 県西部しんきん地域振興財団
静岡県生命保険協会静岡県協会 聖隷福祉事業団
聖隷こども園こうのとり東保育園
小さな親切運動静岡県本部 天星製油株式会社
日本基督教団浜松元城教会
日本基督教団浜松元城教会こどもの礼拝
日本基督教団掛川教会 公益社団法人浜松青年会議所
浜松ロータリークラブ 浜松北ロータリークラブ
浜松南ロータリークラブ
毎日企業(株)

★赤い羽根「課題解決プロジェクト基金」に
ご協力ありがとうございました。

【個人】

大澤ゆかり 大津 敏昭 尾崎 康人 加藤 敬道 川合 高志
菊池美恵子 坂西 和恵 佐藤 和彦 佐藤 三郎 鮫島 道和
滝浪 實 田中百合子 堤 ふみ子 遠山千代子 永川 淳
袴田 修司 原田 貴之 前川 幹恵 牧野 哲郎 山本 直司
山本 玲子

【団体】

奥山診療所
くまがいクリニック
(医)小助川ファミリークリニック
静岡県西部健康福祉センター
静岡県福祉長寿局福祉長寿政策課

※ 名簿につきましては、万一誤りや記入漏れがございましたらお詫び申し上げます。その場合はご面倒ですが、事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

★ご協力者

(有)あかまつプラザ36 アド・アール株式会社
遠州栄光教会住吉 オーム電機(株)
大和田真澄 岡上伸雄 古山清子
シネマイーラ 聖隷福祉事業団
浜松エフエム放送(株) 浜松市医師会看護高等専修学校
光タクシー(株) ブラジルふれあい会
マックスバリュ浜松住吉店 (黄色いレシートキャンペーン)
森島園製茶

2026年度理事・監事および評議員名簿
(2026.4.1 現在)

理事長	福永 博文	
理 事	佐藤 和彦	評議員 磯部 幸恵
	鈴木 清	金谷 一作
	津幡 佳伸	河合 利行
	袴田 修司	高 承和
	鮫島 道和 (事務局長)	小杉 浩造
監 事	鈴木 勲	宮澤 和代
	久留島 勝則	宮谷 恵



社会福祉法人
浜松いのちの電話

〒430-8691 浜松郵便局私書箱 125 号
発行人 福永 博文
編集事務局 TEL (053) 471-9715
FAX (053) 543-9020